Join!

長門湯本観光まちづくり

みんなの力で湯ノベーション

成長戦略推進課　TEL 23-1234
長門湯本みらいプロジェクトHP
http://yumoto-mirai.jp/

ワクワクを共有し楽しくまちづくり

～長門湯本みらいプロジェクトの情報発信～

長門湯本温泉では温泉街の再生を目指し、「長門湯本温泉観光まちづくり」の取組が進んでいます。

観光まちづくりのプロジェクトが本格始動して1年。さまざまな取組が進む中、長門湯本温泉ではまちづくりの様子を発信しています。

市外に長門湯本温泉のことを知っていただき来ていただくことはもちろん、まちづくりの仲間を増やすためには「何がこの地域で起こっているんだろう」を知ってもらえる、継続的な情報発信が欠かせません。

まちづくりは特に、さまざまな取組が同時進行で動くため、それらを分かりやすく伝える方法を考えることも必要です。

効果的に発信するには「デザイン」がとても大きな役割を果たします。読みやすいことはもちろん、良いデザインは多くの人に選ばれ、記憶に残っていきます。闇雲に発信するのではなく、デザインに気をつけて情報を積み重ねていくことは、大きな目標にむかって動くまちづくりのプロジェクトにはとても大切なことです。

長門湯本温泉では、良い情報発信をこころがけ、それらが積み重なることで、温泉街の価値を高めていくことも目標のひとつとしています。

これからも広報や説明会などはもちろん、インターネットや瓦版を通じて、地域のみなさんにワクワクをお届けする予定です。

まちづくりに興味や関心があるみなさん、まずは新しい情報に触れてみませんか？

ウェブサイトで最新情報をお届けしています

未来に向けて変わっていく温泉街の様子やワクワクするようなことをウェブサイトで発信しています。ぜひご覧ください。

■長門湯本みらいプロジェクト
http://yumoto-mirai.jp/

▲紙媒体でのお知らせも発行中

懐かしの湯本フォト

写真提供：湯本まちかど資料館館長　吉冨尊一

まちづくりのキーパーソン

長門湯本温泉の「今」を目に見える形に

白石（しらいし）慎一（しんいち）さん（長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議 委員）

《略歴》
1967年生まれ。長門市在住。株式会社ファンタス代表取締役。趣味：映画鑑賞　特技：イラスト、大工仕事

長門湯本温泉観光まちづくりで情報発信とデザイン監修を担当している市内在住の白石さん。これまでロンドンや東京を拠点にイラストレーターとして活動し、長門市に戻ってきてからもインターネット関係の仕事に携わってこられました。

まちづくりに関わるきっかけは、熱い想いを持ったメンバーとの出逢いだそうで、「このプロジェクトに前のめりなくらいのめり込み、実際に汗をかく人たちがいる。関わるからには自分も一緒になってやりたい」と参加を決意しました。

長門湯本温泉の魅力を「新しいアイデアや試みに対し、できるだけ取り入れて支えようとする地域の人が多く、未来をつくる可能性が大きいこと」と話す白石さん。担当する情報発信について「これまで地域のみなさんと協議したことや準備してきたことが、これからの2年間で目に見える形で動き出します。その動きを知ってもらえるようしっかり情報発信しますし、みなさんにもぜひホームページなどにアクセスして、今何が起こっているのかを知ってほしい」と意気込みを語りました。